

【 会員の頁 】

3 会員が Calorimetry Conference で受賞

第16回IUPAC化学熱力学国際会議と同時開催された第55回カロリメトリー会議で、本学会から3名もの会員が受賞した。誠に喜ばしいことである。

稲葉章会員（阪大助教授）はクリステンセン記念賞（The James J. Christensen Memorial Award）を受賞した。この賞は化学熱力学、とりわけ金属錯体の配位熱測定の実展に大きな寄与をされたブリガム・ヤング大学のクリステンセン教授を記念して1988年に設立された賞であり、熱測定装置の革新的な開発とそれを用いた顕著な研究業績を対象としている。稲葉氏は独自に開発した断熱型熱量計を駆使し、吸着単分子膜の熱容量を正確に測定し、興味深い様々な現象を発見し、その解釈を行っている。余人の追従を許さぬ研究領域を開拓したことが受賞の理由である。材料物性熱力学の確立で昨年同賞を受賞された阿竹 徹会員（東工大教授）につぐ本学会からの連続受賞は、わが国における化学熱力学研究の水準の高さを物語っている。

Svein Stølen 会員（オスロ大学教授）はスンナー記念賞（The Stig Sunner Memorial Award）を受賞した。この賞は燃焼熱を始めとする幅広い化学熱力学の開拓で大きな功績を残されたルト大学のスンナー教授を記念して1980年に設立された賞である。生前から若い研究者へ限らない愛情を注がれた同教授の遺徳を偲んだものであり、熱力学や化学熱力学の分野で顕著な研究を行っている40歳までの若手の研究者を対象としている。Stølen氏は高温熱測定で著名なF. Grønvold教授の後を受けて若くして教授になら

れ、無機材料の熱力学や標準化での研究業績が高い。研究以外でもIUPACやCODATAの委員として、また学術誌の編集者や編集顧問としての活躍も大きい。本学会には現在のところ外国人会員は2名しかいないが、その中からの受賞である。お慶びを申し上げると共に、わが国の若い研究者へ大きな刺激を与えて頂いたことに感謝したい。ちなみにもう1人の外国人会員はICCT-2000の組織委員長を務められたMary Anne White教授である。

守屋映祐 会員（東工大大学院・総合理工、博士後期課程1年生）はジオーク学生賞（The William F. Giauque Student Award）を受賞した。この賞は化学熱力学への貢献、とくに極低温における物質の諸性質に関する研究で1949年にノーベル化学賞を受賞されたカリフォルニア大学バークレー校のジオーク教授の功績を偲んで設立された。優秀な研究を行っている学生が受賞対象である。守屋氏は近年注目を集めているリラクサー強誘電体の熱力学的研究に取り組んでおり、とくにクラスター的な乱れの問題、ガラス状態的な挙動、それらが極低温領域で示す過剰熱容量などの解析ですばらしい成果を挙げている。

これら3名の受賞者に、日本熱測定学会を代表して心よりのお慶びを申し上げますと共に、益々のご活躍を期待したい。本学会には授賞制度が無いので、一方的な恩恵にひたるばかりで申し訳ないが、今後も受賞者がどんどん増え、本学会の学問的水準の高さが正当に評価されることを願ってやまない。

（日本熱測定学会会長 徂徠道夫）



稲葉 章会員



Svein Stølen 会員



守屋映祐会員